

ワーク・ライフ・バランス推進について、 働く私たちが求めていること

2007年4月11日

経済評論家・ムギ畑主宰
勝間和代

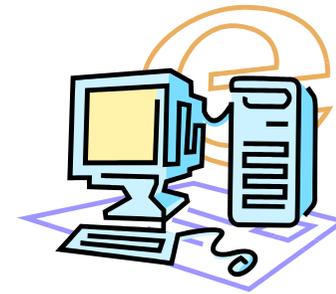


目次



1. 勝間と「ムギ畑」の紹介
2. ワーク・ライフ・バランスに働く私たちが求めていること
3. ワーク・ライフ・バランスを支えるサービス
4. ワーク・ライフ・バランスをめぐる企業・組織の取組について考えること
5. ワーク・ライフ・バランスで、行政・組織に期待すること
6. ワーク・ライフ・バランスを促進する企業・組織を社会的に育てる取組
7. 個人にとってのワーク・ライフ・バランスの意義

1.勝間と「ムギ畑」の紹介



勝間 和代

- 現在は経済評論家・公認会計士として、独立して活動
- 独立以前はJ.P.モルガン証券で証券アナリスト、マッキンゼーで経営コンサルタント、アンダーセンで公認会計士など、子育てしながらフルタイムで勤務
- 子どもは娘3人(高2、中2、小3)、子どもと4人暮らし
- ムギ畑(<http://www.mugi.com>)で女性の多様な働き方を1997年から応援
- 2005年に、ウォール・ストリート・ジャーナルから「世界で注目したい50人の女性」に選出
- 2006年に、最年少でエイボン女性大賞を受賞

ムギ畑(http://www.mugi.com/)



The screenshot shows the homepage of the Mugi website. At the top left is the logo 'ムギ畑 field of mugi'. To the right is a navigation bar with 'カジュアル家政婦 Cleaty Service' and a 'Cleaty' logo. Below this is a banner with statistics: 'あなたは 3980401 人目' (You are the 3,980,401st person), '最新会員数 4318 名' (Latest number of members 4,318), and 'お問い合わせ' (Contact Us). A copyright notice reads 'Copyright (C) 1997 - mugibatake of www.mugi.com. All Rights Reserved.' Below the banner are three main sections: 'What's ムギ畑' (What's Mugi), '入会希望される方は' (For those who wish to join), and '会員ページへ' (To the member page). The 'What's Mugi' section contains three articles: 1) 'ムギ畑は、明るく働き続けることを目指すワーキングマザーおよびその予備軍のための、無料会員制のインターネットサイトです。' (Mugi is an internet site for working mothers and their reserve army, aiming for bright, continuous work, with a free membership system); 2) 'ムギ畑からのお知らせ' (Notice from Mugi) with dates 10/14, 10/28, 11/11, mentioning an event '女性と仕事の未来館' and a live session; 3) '2月18日土曜日の朝日新聞朝刊別刷り「be」のフロントランナーとして、「働く母親が知恵を情報共有し、支え合う」という記事で、約全面2面を使ってムギ畑が紹介されました。' (On Feb 18, Mugi was featured in the Asahi Shimbun as a front-runner for an article about mothers sharing wisdom and supporting each other); 4) '1月14日土曜日に、「ムギ畑に種をまく3000人の女たち」人がつくるムギ畑 あんな人、こんな人」をテーマにしたムギ畑カンファレンスを大手町サンケイプラザで開催し、大盛況のうちに終わりました。協賛いただいた日本アイ・ピー・エム、J.P.モルガン証券に感謝の意を表します。' (On Jan 14, a conference was held with the theme 'Mugi: A field of women who sow seeds', featuring 3,000 women, with thanks to J.P. Morgan Securities); 5) '米国経済誌、ウォール・ストリート・ジャーナルが選んだ「The 50 Women to Watch 2005」(世界で2005年に注目したい150人の女性)の1人として、ムギ畑の創設を評価され、ムギが選ばれました。' (Mugi was selected as one of 'The 50 Women to Watch 2005' by the Wall Street Journal). Below the articles is a book cover '数学にときめく' by 新井紀子・ムギ畑. At the bottom left, it says 'ムギ畑が編集しました' (Edited by Mugi). On the right side, there is a photo of a flower, a search bar with 'amazon.co.jp' below it, and a note: 'ムギ畑に広告、宣伝、マーケティングのご利用を検討される企業の皆様へ' (For companies considering advertising, promotion, and marketing on Mugi).

ムギ畑の概要



- 1997年10月に設立された、インターネット上のコミュニティ
- ワーキングマザーおよびその予備軍4,500名が会員となっている
- 「ムギ畑が目指すもの」という行動規範をもとに、互いに知恵を共有して、支え合うことを目的としている
- 会員料金は無料、運営は会員の中から募ったボランティア約40名で管理
- これまでの働く女性の集まりの中でも特に、フルタイムの正社員、専門職が多いのが特徴(均等法以後世代)
- テーマ別の会議室でのQ&A、地域ごとオフ会、年に数回行われる大規模な旅行などが活動
- 書籍の出版、メディアへの意見提出なども活動として行っている
- 「ムギ畑は、日本で初めて、『惨めさとは縁遠いワーキングマザーの集団』であり、衝撃を受けた」(女性・ジェンダー問題研究者談)

「ムギ畑が目指すもの」



- ムギ畑は以下の4つの「ムギ畑の目指すもの」を価値観として共有し、自己実現をしながら明るく働き続けるための、ワーキングマザー及びその予備軍の女性が集うコミュニティです。
- 現在・過去・未来のワーキングマザー、およびワーキングマザーに共感する女性が経験や知恵を共有できる「ワーキングマザーの知恵袋」にしましょう。
- 会社・地域社会等さまざまな場所で、自分は何を貢献できるか、ここで一緒に考えていきましょう。
- 会員同士ギブ&テイクの精神で、互いに励まし合い、時には叱り合い、さらに成長しあえる場所をつくっていきましょう。
- 営利を目的としないようにしましょう。

2. ワーク・ライフ・バランスに、働く私たちが求めていること



- ワーキングマザー初心者の段階では、先輩から知恵を共有してもらうことで、なんとか、仕事と育児・家事を両立する道を探ることに重点がおかれる
 - 働きやすい職場、住環境などの共有
 - 保育園・学童への入所方法
 - 子連れ出張や短時間勤務など、具体的なケース・スタディ
- しかし、初心者を超えると、「働く女性である自分たちの自助努力だけではなく、いかに、周りにも理解してもらおうか」という部分が課題になる
 - ワーキング・マザー側の自助努力だけでは限界がある
 - 働き過ぎ、うつ病や夫婦不和、離婚などが30代半ばを越すと増加してくる
 - 未だに、両立できているのは一部の大企業や外資であるケースが多い
 - 同様に、「ワーキング・マザー」だけトキのように珍重しないで欲しい
- 「恵まれた一部の人」ではなく、「働きたいと思っている人はすべて」働ける環境になることを望んでいる

3. ワーク・ライフ・バランスを支えるサービス



- ムギ畑では、サービスについても、会員相互の経験・知恵の共有が行われている
 - 保育園への入所情報。「1年保育園戦線、かく戦いき」ツリーなど
 - 民間ベビーシッターサービスやファミリーサポートなどについても共有
 - 家事や育児の細かいノウハウへの共有も盛ん
- 家事の効率化は常に話題
 - ワーキングマザー三種の神器としての「自動皿洗い機」「ガス乾燥機」「24時間風呂」
 - 生協やオイシックスなどの食材通販や家事サービスの活用も多い
- 重要なのは、家族の協力と企業の理解
 - 家族のアウトソースへの抵抗は少ない 三歳児神話
 - 夫・実家の父母、夫の父母との関係の作り方、協力のしかたが鍵
 - 職場とのコミュニケーション、制度利用にも工夫が必要

4. ワーク・ライフ・バランスをめぐる企業・組織の取組について



- ムギ畑で、企業での働きやすさを中心に、「4,000人に聞きました、ハッピー・ワーキングマザーBOOK」をアンケートに基づいて編纂
 - 「働きやすい職場」は業種よりも、規模で決まっていた。従業員数の多い会社ほど、働きやすさを感じている
 - 大企業は制度はあるが、運用がまちまち。中小企業では制度そのものもないケースが多い。ただ、どちらも、「退職勧告」「パートへの転換」「配置転換」などは日常的に行われている
- 企業側にインタビューをすると、「女性を雇うことが必ず企業のメリットになる」という揺るぎない証拠が欲しい、といわれる
 - 今あるデータでは、恣意的だと考えるマネジメントもいる
 - 本音では、やはり、優先順位が低い
 - 人事評価で強制されないと、やはり実現しづらい？
- マジックナンバー”30%”に向けた取り組みが必要か

5.ワーク・ライフ・バランスで、行政・組織に期待すること



- 行政には、両親が働きながらも無理なく育児できるよう、公的サービスを充実させることを期待
 - 保育園の地域格差の解消
 - 学童クラブの充実・予算増加
 - 小学校・中学校の公的教育の向上(中学受験が当たり前、という風潮への疑問)
- 企業および組織全体には、「働き過ぎの是正」を期待
 - 少子化の原因の一つは、「時間貧乏」ではないか
 - ワーキングマザーだけ早く帰ってもダメ。逆に、早く帰ることで、通常のラインから外れてしまうことが問題
 - 「場の空気」によるインプット管理から、アウトプット管理へ

6.ワーク・ライフ・バランスを促進する企業・組織を社会的に育てる取組



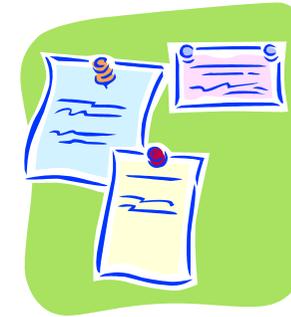
- アイデア1:雇用・住民流動性の拡大による競争促進
 - 企業に勤めている人は、働き過ぎを自覚したら、どんどん職場を移れるようにする
 - 自治体ごとのサービスの差があったら、住民もどんどん移住する
- アイデア2:SRI(社会責任投資)の拡大
 - 現在のSRI残高はほとんどがエコ向けで、WLB関連は数%
 - 例えば、公的運用の一部をWLBに基づくSRI適用を義務づける
- アイデア3:WLBマークの普及、促進
 - 環境=エコマークのように、WLBの重要性を認識性を訴え、そのわかりやすいシンボルを作って、普及させる
 - 「不都合な真実」のような、わかりやすい映像を作る

7. 個人にとってのワーク・ライフ・バランスの意義



- 抜本的な課題は「社会の過当競争・過剰要求」から生じる、ひとりひとりの「時間不足感」
 - 「がんばること」への美德意識
 - 特に仕事は、「がんばれば報われる」システムのため、多くの人がんばりすぎてしまう
 - ところが、1日24時間しかないのに、労働・家事・介護・地域貢献など、「やらなければならないこと」が盛りだくさん
 - 結局、「どれも中途半端」になることがジレンマ
- いい意味での「割り切り」を許す雰囲気が必要か
 - 「がんばりすぎ」をやめ、やることを減らす
 - 周りも、それを許容し、推奨し、サポートする

まとめ



- ワーク・ライフ・バランスについて、部分解(例えば、ワーキングマザーへの過度な優遇、あるいは本人たちの過度な努力)ではなく、全体解(一人一人が過重労働から離れ、ゆとりを持つ)が必要
- そのためには、「限りなく努力することが美德であり、日本人の強みである」という考え方への挑戦が必要なのではないか
- 解としては、アウトプットに基づく成果指標のしくみと、その成果を支える社会の雰囲気、SRI、公的サービスなど、多面的なアプローチが必要と考える
- 「働き過ぎは格好悪い」くらいの意識作りが必要